

1. 実施方法

学校評価委員会を設置して、教職員全員による自己点検・評価を実施し、その結果についてこの報告書にまとめました。

※評価方法 4（適切）から1（不適切）の4段階で評価。
 （適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1）

2. 自己評価結果

(1) 教育理念・目標

評価項目	評価 1～4
① 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか(専門分野の特性が明確になっているか)	4
② 学校における職業教育の特色は何か	4
③ 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
④ 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者に周知されているか	4
⑤ 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

現状の課題と解決策

<ul style="list-style-type: none"> ・ 創立以来30年を超えた現在、地域社会の人材ニーズや雇用情勢の変化等改めて調査研究し、実態に即したカリキュラムの編成と新学科の設置を含めた学科改組について検討を始める時期である。業界のニーズを把握したうえで人材教育の具体化を検討し、社会の変化に伴った魅力ある学校の将来構想を明確にすることが必要だ。 ・ 本年度からeコマース入門等、社会経済の変化に踏まえたカリキュラムを導入したり、探求学習では地域の産業経済界との産学連携を積極的に進めているが、地域社会からのニーズの少ない学科については、他学科との発展的統合について検討を始める。また、社会や地域の企業ニーズを積極的にリサーチするとともに地元企業への学生理解を求め地域全体で地元に残る学生を育成する仕組みをつくり、地域に必要とされる専門学校を確立する。
--

(2) 学校運営

評価項目	評価 1～4
① 目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
② 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
③ 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
④ 人事、給与に関する規定等は整備されているか	3
⑤ 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
⑥ 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
⑦ 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4
⑧ 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

現状の課題と解決策

<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校の財務は学生数の増減により大きく変動するため、当校のような小規模校においては定期昇給等を実施することが難しく、賞与等一時金で補完している現状である。また、意思決定機能が機能せず、指揮系統や担当業務に混乱が生じ、決定までに時間を要する。情報システム化については学習環境の向上を図るためにさらに整備を進めるべきと考える。 ・ 教務および財務については、年度当初、中間、年度末に学園理事会で報告しており、適切な学校運営についてチェックをいただいているが、今後は、人事・給与についても理事会および関係企業等と相談の上、可視化することが望まれる。また、引き続き学生の満足度につながる様々なシステム化の検討を強化する。
--

(3) 教育活動

評価項目	評価 1～4
① 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
② 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた、学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
③ 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
④ キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の、工夫・開発などが実施されているか	4
⑤ 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
⑥ 関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4
⑦ 授業評価の実施・評価体制はあるか	4
⑧ 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
⑨ 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
⑩ 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
⑪ 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3
⑫ 関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含み)を確保するなどマネジメントが行われているか	3
⑬ 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成などの資質向上のための取組が行われているか	3
⑭ 職員の能力開発のための研修等が行われているか	3

現状の課題と解決策

<ul style="list-style-type: none"> ・ 学生数が急増したため、教職員数の確保の課題が継続している。学生の満足度を維持するために、「習熟度別授業」「探究学習」を展開し、学生の能力伸長と社会人基礎力の醸成を図っているため、即戦力となる教職員の確保は喫緊の課題である。また、厳しい職員体制により、研修の時間が確保できず、職員の育成の課題となっている。 ・ 地方都市という当校の立地条件等により、リクルートの対象と手段が限定されており、教職員の採用はなかなか困難な状況であるが、今後の学生数が担保できない状況で、職員を増やすことは慎重に検討を要するため、非常勤講師を増やすことで、教務の業務円滑化は図れると思う。 ・ 100団体を超える当校の協賛会、職業安定協会をはじめ地域の業界団体、若手経営者の団体等とお連携がより一層深化しており、職業教育、資格取得や技能習得、さらにはキャリア教育の充実に繋がっており、さらに職業教育の充実に努めていきたい。

(4) 学修成果

評価項目	評価 1～4
① 就職率の向上が図られているか	4
② 資格取得率の向上が図られているか	4
③ 退学率の低減が図られているか	4
④ 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4
⑤ 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4

現状の課題と解決策

<ul style="list-style-type: none"> ・ 8年連続の就職内定率100%を達成しており、本年度についても100%達成が目前のところにある。その一方で、多様な学生への就職支援には時間と労力がかかり、職員の負担増となっている。また、内定＝ゴールと捉える学生も一定数おり、資格取得に対する意欲の減退や早期の離職につながるケースも少なくない。 ・ 今後はすべての教員が就職支援を行えるよう研修およびOJT等を通じてスキルアップし、就職支援において学生個々への丁寧なヒアリングが可能な体制を早期に確立していく。 ・ 地元就職について丁寧で熱心な指導により成果を上げており、近隣の高等学校を始めとする関係する方々からも評価されている。引き続き、地域社会の未来を支える人材育成を目指していきたい。また、本年度は例年より退学者が少ないのは、習熟度別授業の効果であると考えている。

(5) 学生支援

評価項目	評価 1～4
① 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
② 学生相談に関する体制は整備されているか	4
③ 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
④ 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
⑤ 課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
⑥ 学生の生活環境への支援は行われているか	4
⑦ 保護者と適切に連携しているか	4
⑧ 卒業生への支援体制はあるか	4
⑨ 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
⑩ 高校・高等専修学校等の連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか	4

現状の課題と解決策

- ・ 学生指導においてきめ細やかな対応が継続されている。その一方で教職員の業務量が増加しており、時には余裕のない状況も散見される。また、以前より学生個々への対応が希薄になっており、問題傾向にある学生の情報を得ることが困難になっている状況である。
- ・ 地域性から教職員の確保が容易ではないため、抜本的な改善策を講じることは困難であるため、担当以外の教職員もサポートできるように教職員の資質向上を図る。また、非常勤講師の増員を図り、教務の負担を減らすことができれば研修の実施も可能である。
- ・ 保護者会の開催等を通して、学生の就職活動における理解や学習成果について情報を共有し、共通の認識ができるよう努めている。また、教員と学生の適切な距離感を保ちながら良い関係が構築できている。

(6) 教育環境

評価項目	評価 1～4
① 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
② 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
③ 防災に対する体制は整備されているか	4

現状の課題と解決策

- ・ 施設・設備の改修は計画的に進めており、数年前に比べて学習環境は格段に整ってきた。しかしながら、学生数増加に伴う教室の確保により、学生が休憩できるスペースが減っているため、多目的スペースとなる教室運営の工夫が必要である。
- ・ コロナ禍における感染対策としてトイレや手洗い場の非接触対応がすべて完了、清潔感のある学習環境を実現している。
- ・ 火災報知機等防災設備の点検は法令に従って毎年実施している。今後は定期的な防災訓練を実施していきたい。

(7) 学生のお受け入れ募集

評価項目	評価 1～4
① 学生募集活動は、適正に行われているか	4
② 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
③ 学納金は妥当なものとなっているか	4

現状の課題と解決策

- ・ 高等学校の先生方から厚い信頼と期待を寄せていただき、近年は入学者が徐々に増加するなど一定の成果を継続している。その一方で、当地域における若年人口は減少傾向にあり、従来の高校新卒者を中心とした学生募集だけでは定員維持が困難な状況になりつつあるため、社会人を対象にリカレント、リスキリング講座の開設や中高生対象のプログラミング講座等の新規事業も検討する。また、国の「高度人材育成コース」での学びなおしを目指す社会人学生数の増加に注力したい。
- ・ SNS等の活用やHPのリニューアルは早期に改善する。また、キャリアビジョンをイメージできる学科名の変更やそれに伴うカリキュラムの検討を行う。
- ・ 飯田市をはじめ近隣自治体の回覧板による「高度人材育成コース(社会人学生)」の周知など地道なPR活動を実施した。また、学生の出身高校に対して教育成果として内定や資格取得の実績報告を実施している。

(8) 財務

評価項目	評価 1~4
① 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3
② 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
③ 財務については会計監査が適正に行われているか	4
④ 財務情報公開の体制整備はできているか	4

現状の課題と解決策

<ul style="list-style-type: none"> 一定の学生数の担保により、中長期的な財政基盤の安定につながると考えるが、少子化に伴う学生数減少傾向の予想から、財政基盤を維持することは厳しいと予想する。そのため専門課程以外の不随事業における新たな事業の展開も視野に入れて検討が必要である。 質の高い授業と学生の満足度を最優先し、経費等の削減内容を検討し実践する。また、事業内容の精査も必要である。
<ul style="list-style-type: none"> 会計監査は監事により適正に行われているが、学園理事会において理事長より経営面について改善すべき点が報告され、今後は教職員も交えた場で改善策について検討を進め、具体的な提案をしていく必要がある。

(9) 法令等の遵守

評価項目	評価 1~4
① 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
② 個人情報に関し、その保護のため対策が取られているか	4
③ 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4
④ 自己評価結果を公開しているか	4

現状の課題と解決策

<ul style="list-style-type: none"> 法令順守と個人情報の管理および学校評価については、適正に実施されており現時点では特段問題はないと思われるが、今後SNSを使った情報発信が増えることから学生の個人情報を等適切な管理マニュアルの整備が必要である。また、定期的な職員研修を実施して意識の向上を図る。
<ul style="list-style-type: none"> 改正労働試作総合推進法の施行により従来の規定を新たに「ハラスメントの防止及び対応に関する規定」として整備した。また、「育児・介護休業規定」を改訂し、仕事との両立がより一層図れるよう整えた。

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	評価 1~4
① 学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献をおこなっているか	4
② 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
③ 地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4

現状の課題と解決策

<ul style="list-style-type: none"> 社会的貢献活動とボランティアは積極的かつ継続的に実施されており、地域社会から評価されているが、強制的な参加とならないよう地域参加の意義を事前に丁寧に説明することが必要である。
<ul style="list-style-type: none"> 公共職業訓練については当校の専門分野である情報・ビジネス分野での受託ができていないため、カリキュラム等の検討と開拓が必要であり、県や国の担当者との話し合いを継続し、当校の教育資源を理解して委託していただけるよう努める。
<ul style="list-style-type: none"> 学生主催のパソコン教室や飯田市から委託された市民対象「デジタル活用講座」に加え、ご高齢の方を対象にした「おもしろパソコン塾」等地域貢献事業を実施した。